

役員所感

直前理事長 大島 隆一郎

【基本方針】

現代社会は、格差のない「みんな一緒」の時代から、独自の幸せを追求する「みんな一人」の時代となり、格差社会による漠然とした閉塞感が社会全体に蔓延した結果、目を覆いたくなるような痛ましいニュースが毎日のように報道されています。一方では、豊かさに慣れてしまい、その日さえ楽しければ良いという刹那的な生き方で、目的意識や当事者意識を持つことを忘れてしまった人が多くなってきている現状も憂慮に堪えません。このような中、先ずは我々が率先して変化をしていかななくてはなりません。

自分の環境や人生を変化させるためには出会いと経験が不可欠です。委員会、例会は当たり前ですが、出向や諸大会・事業への参加というものは自分の意識や見方を変える経験であり、多くの恩人と多くの出会うことになるでしょう。まさに、今まで解らなかった自分とこれからの人生を発見させてくれるチャンスなのです。そんな出会いや経験を通して己を知り、成熟社会をたくましく生き抜くためにチャンスを活かせるよう経験を積みましよう。また、多くの経験の中で役職や立場といった環境がその時々に応じて変わりますが、どれも大切な経験であり、それこそが人を変える力となっていくと考えています。我々の変化が地域にしっかりと伝えることが出来れば、必ず地域も応えてくれる筈です。様々な気づきや学びを得ることで物事の本質が解るよう、常に前を向いて物事を俯瞰的に捉え、自らが積み上げてきた知識と経験で行動していきましょう。主体的に取り組むことを回避するために様々な理由をつけ、積極的に取り組もうとしない姿勢には全く価値がありません。少し無理をして地域と共に前進していく必要があります。そして、地域との信頼関係は、気遣い、誠実さ、公平な判断と約束の下に成り立っていることを忘れてはなりません。

2012年度は、藤井理事長を中心に公益社団法人元年としてスタートを迎え、2014年までの中期ビジョンであるグランドデザイン・アクションプランを指針に、これまで以上に地域からの負託と信頼を得られる存在となるよう、明るく豊かな社会づくりに、そしてそこに携わるための人づくりに尽力をしていきたいと考えています。